

読み

【資料1】

① (表紙)

年寄役被 仰付音物到来扣

(裏表紙)

新右衛門

②

一	扇子料	金百疋	要	仁	利	惣	政
一	扇子		助	作	吉	吉	蔵

厚	増	元	重	吉
平	蔵	七	吉	

一	扇子	式本	吉井屋	忠右衛門
---	----	----	-----	------

一	同	三本	中島 ^(嶋) 屋	徳 ^(徳) 蔵 ^(蔵)
---	---	----	---------------------	-----------------------------------

一	同	式本	神崎
---	---	----	----

一	同	式本	水沢 ^(澤)
---	---	----	-------------------



筆者は、11代三郎右衛門の次男の新右衛門。新右衛門は分家の花屋を継ぐ。
この資料は、年寄役就任にあたり書かれたもので、慶応元年（1865）か2年と思われる。

一 伊勢海老 壺
生貝 式 錢(錢)屋



板屋

一 扇子 式本 謙次

一 酒券 壺枚 妹尾

児島(嶋)屋

一 扇子 式本 光太郎



大竹(能)の子 壺本

一 杉(杵)三本入 壺箱 観龍寺

酒券 壺枚



大黒屋

一 扇子 式本 甚介

一 大鱈 壺本

千次郎

要右衛門

柏右衛門

断戻ス

十吉

一 扇子 式本

浜^(濱)田屋

治右衛門

東

一 鱸 壺本

大橋

式

橋本屋

一 小鯛 壺枚

善吉

一 中鯛 壺枚

小野

新田

一 中いか^(可) 壺

千代松^(悉)

一 扇子 三本 植田

中鯛 壹枚 式

たこ 壹ツ



一 鯛 壹枚 尾崎

宮野屋

一 に(糸)へ(遍) 壹本 貫蔵

さほむ(無) 三ツ 壹

一 大鱸 壹本 祢屋

二

播磨屋

一 こち(吉) 貳本 石蔵

断戻ス

一 生菓子 廿入 本栄寺

使小僧扇子壹本遣ス

一 す(春)ゝ(起) 壹本 妹尾屋

壹